

# 国文祭開幕まであと

100日  
(平成24年10月4日現在)

## 国民文化祭とは

全国各地から、さまざまな文化活動に親しんでいる個人や団体が集まり、発表、競演、交流する「日本最大の文化の祭典」です。昭和61年から毎年、各都道府県持ち回りで開催しています。平成25年、全国初の通年開催(会期303日間)により山梨県で開催されます!



宝塚歌劇団 演出家  
三木 章雄(みき・あきお)さん

PROFILE

1971年4月、宝塚歌劇団入団。1980年にショー作品『ファンシー・ゲーム』で演出家デビュー。宝塚らしさと現代性が融合したショー作品を数多く手掛け、男役の魅力を最大限に引き出す工夫と観客を飽きさせない本物志向で数多くのヒット作を生み出した。海外公演でも大いに手腕を発揮し、熱心な研鑽に裏打ちされた懐の深さにより、さまざまなジャンルで実績を残している。

演出とは常に未知なるものへの挑戦  
観客とともに楽しむショーに!

平成25年に年間を通して繰り広げられる国民文化祭。その秋のグランドステージ「総合フェスティバル」を監督するのは、山梨県出身の小林三三が創設した宝塚歌劇団の演出家である三木章雄さん。今回は、開幕まであと100日となり、期待が膨らむ富士の国やまなし国文祭への抱負を語ってもらいました。

●山梨県に対する印象は?  
三木 山梨県には日本一の富士山があり、東京で生まれ育った私は、子どもの頃から富士山を見て育ちました。富士五湖や忍野八海など美しい場所が多くて、うらやましいです。

●演出家って、どんなお仕事ですか?  
三木 生まれも育ちも東京で、宝塚ももちろん、関西とは縁がありませんでした。大学は商学部で演劇とは一切関わりがなかったのですが、宝塚歌劇を見て、その魅力に惹かれて入団

したんです。以後、レビューを中心に演出を手掛けてきました。出演者をはじめ、音楽・振付・照明・衣装など多くの担当者と協力して、観客に見て喜んでもらえる華やかな空間を作る仕事です。

●三木さんにとって、舞台演出の魅力とは?  
三木 宝塚歌劇には、とても熱心なファンが大勢いらっしゃいます。その方々の「宝塚歌劇はこれ!」というイメージを壊すことなく、しかし、新しい舞台を作るという簡単ではないが、おもしろい作業の連続であることでしょうか。

三木 大人はもちろん、子どもさんにも見て、感じて、楽しんでもらえるような、山梨県の素晴らしさを凝縮した舞台になります。特にこれから未来を担う子どもたちには、ゲームやテレビ・映画とは違う、生の舞台上に直接触れることで、何かを感じて、記憶に残してもらえればうれしいです。期待していただきぜひ、参加してください。

●「国民文化祭・やまなし2013」秋の総合フェスティバルの監督に当たり、抱負・意気込みなどを!  
三木 国民文化祭のステージを演出することは、宝塚歌劇とは違った材料を使って、調理するようなもの。これまでとは違った舞台づくりができることにわくわくしていますよ。山梨の自然・環境・歴史などを反映した、素晴らしいステージをお見せします。

●「国民文化祭・やまなし2013」開幕まであと100日となりました。心待ちにしている山梨県民の方々に向けたメッセージを!  
三木 宝塚歌劇のレビューは、とても熱心なファンが大勢いらっしゃいます。その方々の「宝塚歌劇はこれ!」というイメージを壊すことなく、しかし、新しい舞台を作るという簡単ではないが、おもしろい作業の連続であることでしょうか。



常に観客を魅了する宝塚歌劇のレビュー ©宝塚歌劇団

## 富士の国やまなし国文祭・プレイイベント 幕絵甲子園2012 高校生のアートパフォーマンス



富士の国やまなし国文祭  
マスコットキャラクター  
カルチャくん

江戸時代、甲府城下町で道祖神祭りに飾られた「幕絵」に高校生たちが挑戦!  
8月18日。国民文化祭のプレイイベントとして、舞鶴城公園で行われた幕絵甲子園には、県内9つの高校が出場しました。高校生たちは真夏の暑さにも負けない気迫で、縦16m×横10mの大作に挑戦。富士山やモモ、ブドウなど、それぞれがイメージする「山梨」を大胆に描き出しました。今回制作した9枚の幕絵は、来年1月の国民文化祭の開幕に合わせて、JR甲府駅北口ペデストリアンデッキに展示。古くて新しい山梨の文化として、県内外に発信します。



優勝校 日川高校  
キャプテン  
吉村 祐香さん  
みんなで楽しみながらいい作品を作れて、さらに優勝もでき、本当に良かったです。  
一本の枝に山梨の美しい四季を表現したこの幕絵が、多くの人に山梨をもっと知ってもらえればうれしいです。

## やまなし食のカレンダー 365募集!

山梨県の食文化を見つめ、つなげていくため、県産食材を使った料理のレシピを募集しています。

- 募集するレシピの条件
  - ①県産食材を1つ以上使用していること
  - ②未発表のオリジナル作品であること
  - ③材料は4人分とする
  - ④美しく盛りつけた料理の写真を添付すること
- 応募資格  
県内在住の個人、または県内で活動しているグループや団体、企業など
- 応募締切  
平成25年3月29日(金)

ご応募いただいたレシピは審査の上、国民文化祭開催期間中、毎日、ホームページで紹介していきます。

問い合わせ先  
第28回 国民文化祭山梨県実行委員会事務局(国民文化祭課内)  
TEL 055-223-1846 FAX 055-223-1842

やまなし国文祭  検索